

今年度の進路指導を振り返って

昨年度に続き、COVID19が進路関係の動きに大きく影響した1年でした。4月から10月まで在宅学習が続き、進路関係の連絡もほぼ配信やMEETを使った面談、資料配布で行いました。今年度の9年生の進路決定までのおおまかな流れを以下にまとめましたので、7・8年生をはじめ、進路選択を控える皆様のご参考になればと思います。

【9年生の進路決定までの流れ】

進路決定までの動き		備考	その他・行事
5月	第1回進路希望調査	4月	進路学習
6月	第1回進路説明会(配信)	~	自己理解・進路先調べ 面接対策
7月	第2回進路希望調査		
9月	第1回個別面談(MEET) 第2回進路説明会(配信) 年内入試準備開始 年内推薦申込締め切り	10月	模擬面接(MEET)
10月	第3回進路希望調査	11月	定期テスト 実力テスト(志望校判定あり)
11月	成績開示 第4回進路希望調査 年明け推薦申込締め切り		
12月~	第2回個別面談(MEET) 年明け入試準備		

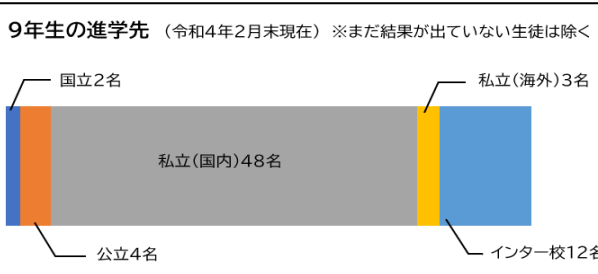
令和3年度 9年生の主な進学先と入試・受験傾向

9年生の進路についてですが、現時点で多くの生徒の進学先が決定しております。10月からの帰国生入試をはじめとして、3月中旬まで各都道府県の受験は続いておりますが、2月末現在の状況をお知らせします。

今年度の入試の傾向としては、特に私立校で、海外入試(会場試験)・オンライン入試・書類選考入試・日本国内入試を組み合わせ、昨年にも増して受験生の様々な状況に対応する動きが見られました。それに伴い、帰国することなく

受験ができる方式を利用するご家庭が多くありました。もともとオンライン入試を含め、海外での受験が可能な高校は多数ありましたが、ここ1・2年のCOVID19の影響でさらにシステムが確立されたこともあり、今後も一つの入試方法として普及していくことが考えられます。また日本国内で年明け入試を実施した高校では、オミクロン株の感染拡大を受けて面接試験を中止するなど、試験内容を急遽変更するケースも見られました。また、入試に向けて感染予防のガイドラインを発表したり、受験生に健康チェックの実施を求めたりと、各自治体・各校で様々な対策がなされていました。

本校の受験傾向としては、如水館バンコク高等部の募集停止の影響もあり、インター校希望者が増加しました。また、日本・タイ以外の国での進学を希望する生徒もいる一方で、海外でもオンラインでの授業が受けられる通信制の学校への需要も少しずつ高まっています。日本国内校への進学状況としては私立校への進学者数が全体の約半数を占めており、昨年度同様、大学附(付)属高校への希望者が多い傾向にありました。また、公立高校希望者は全体の3割程度でした。なお、私立・公立共に多くの9年生が帰国生受験(検)、帰国子女枠を利用しての受験(検)をしました。



保護者の皆様へ

9年生の保護者の皆様、この1年間は海外からの受験ということに加え、COVID19の影響もあって受験校決定から出願・入試・手続きに至るまで多くのご苦労があったことと思います。進路選択には生徒自身の努力はもちろん、ご家庭の支えが欠かせません。様々な場面でご協力いただき、ありがとうございました。

また、7・8年生の保護者の皆様にも Google Classroom 等を通じて情報提供をさせていただきました。次年度向けの説明会についても順次始まりますので、継続して情報発信をしていきたいと思っております。興味のある志望先については早めに参加し、情報収集されることをお勧めします。

最後になりましたが、この1年間ご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。